

「七十七ビジネス大賞」「七十七ニュービジネス助成金」受賞企業紹介

第3回 「七十七ビジネス大賞」受賞企業（平成12年度）



代表取締役社長
渡辺穎悦氏

株式会社渡辺採種場

住所 : 遠田郡小牛田町南小牛田字町屋敷109番地

設立年 : 昭和25年（創業 大正11年）

業種 : 育種業

資本金 : 48百万円

従業員 : 150名

事業の概要

当社は、野菜の品種改良を主たる業務とし、優れた種子の生産、販売を中心に事業を展開している。急速に発展しているバイオテクノロジー分野へも積極的に取り組んでおり、本社のバイオ研究棟において数名の専門スタッフが優良新品種の開発などの研究を重ねている。最新の大型恒温恒湿種子備蓄倉庫、種子加工処理施設を設備し、品質管理にも万全の体制を敷いている。



受賞の理由



からの評価も高い。

育種業は、新品種の開発に通常で12～13年、長いものでは20年以上もかかる根気の必要な事業であるが、当社は優良種子の研究開発・生産・普及に積極的に取り組んでおり、宮城県を代表する「松島交配」ブランドをはじめとする数多くの実績により高い評価を得ている。さらに今年度、渡辺社長が日本種苗協会会長に就任し全国的な業界のリーダーとして期待されていることは宮城県の企業として大変素晴らしいことである。また、当社は「環境にやさしい育種業」を目指し低農薬野菜の研究開発・育成に早くから取り組み、根コブ病抵抗品種の開発に世界で初めて成功。科学技術庁より表彰を受けるなど各方面

生産農家における高品質な種へのニーズに対応し新商品を毎年開発するなど、当社は創業以来80年近くにわたり農業の質の向上に貢献。育種技術を生かし、地域特産野菜による地場産品作りにも積極的に協力しているほか、生産者への指導などをおして地域農業の発展にも尽力している実績を高く評価したい。

[▶ BACK](#)